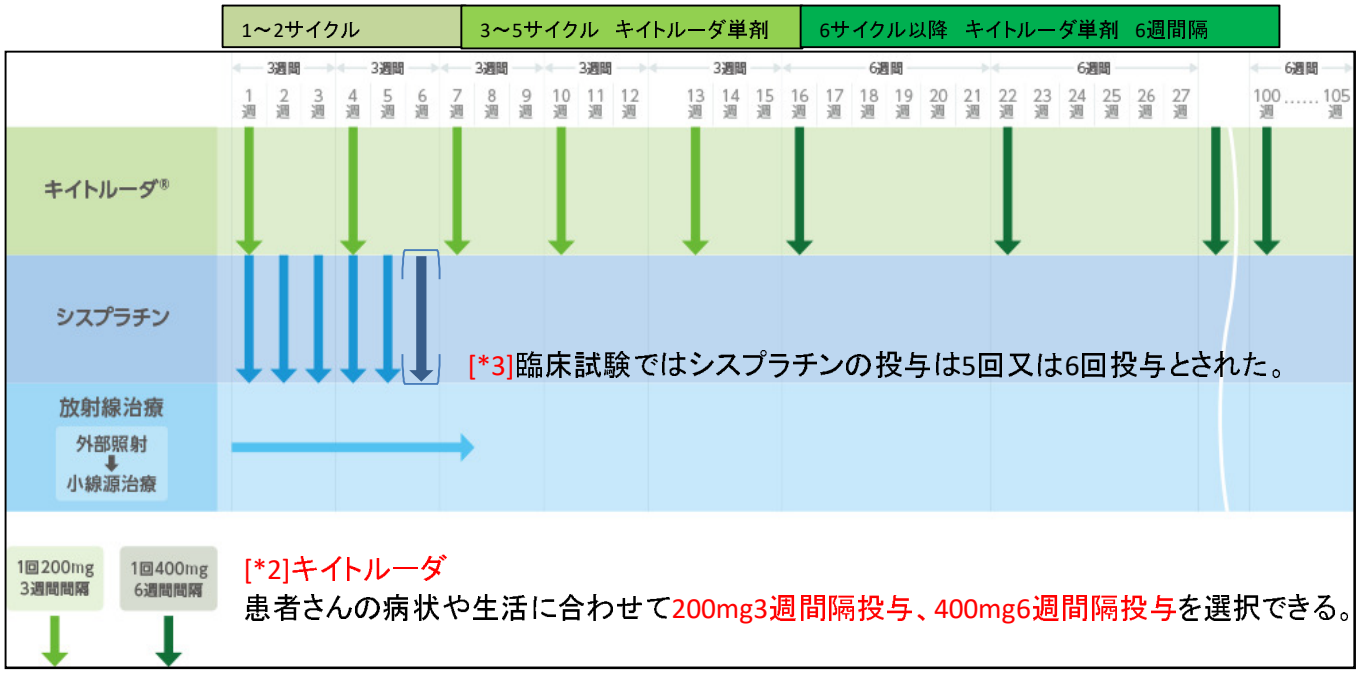
レジメンcode:	C53-17
適応がん種:	子宮頸癌
レジメン名:	Pembrolizumab+CDDP+RT
間隔:	1～2サイクル　下記図1参照[*1]
	3～5サイクル　3週間間隔
	6～20サイクル 6週間間隔[*2]

備考

[*1]【治療スケジュール　図1】投与期間は24ヶ月間とする。



【1～2サイクル目】 1サイクル3週間隔

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	day1
CDDP	シスプラチン(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)	40	mg/㎡	点滴(2時間)	day1、8、15[*3]
RT		70	Gy		

【3～5サイクル目】 1サイクル3週間隔

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	day1

【6～20サイクル目】1サイクル6週間隔[*2]

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	400	mg/body	点滴(30分)	day1

次ページあり

【1～2サイクル目】

day1**【ケモセーフ使用】**

1）硫酸Mg補正液			1 A	
生食	500ml		1 袋	
	主管①	点滴	2時間	
2）生食	500ml		1 袋	
	主管②	点滴	2時間	
3）キイトルーダ			200 mg/body	
生食	50ml		1 本	
	主管③	点滴	30分	インラインフィルター必須
4）生食	50ml		1 本	
	主管④	点滴	15分	
5）アロカリス	235mg		1 V	
パロノセトロン	0.75mg		1 V	
デキサート	6.6mg		1 V	
デキサート	3.3mg		1 A	
生食	50ml		1 本	
	主管⑤	点滴	30 分	
6）シスプラチン(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)			40 mg/㎡	**【ケモセーフ使用】**
生食	500ml		総液量650ml以下になるように生食を調製	
	主管⑥	点滴	2時間	
7）マンニットールS	300ml		1 袋	
	主管⑦	点滴	1時間	
8）ラクテック	500ml		1 袋	
	主管⑧	点滴	2時間	
9）ラクテック	500ml		1 袋	
	主管⑨	点滴	2時間	
10）ヘパリンNaロック	10ml		1 筒	
				ルートロック

〈所要時間　約13時間〉

次ページあり

day2、3

1）デキサート	6.6mg		1 V
生食	50ml		1 本
	主管①	点滴	15 分
2）硫酸Mg補正液			1 A
ラクテック	500ml		1 袋
	主管②	点滴	2時間
3）ラクテック	500ml		1 袋
	主管③	点滴	2時間
4）ヘパリンNaロック	10ml		1 筒
			ルートロック

〈所要時間　約5時間〉

day8、15**【ケモセーフ使用】**

1）硫酸Mg補正液			1 A
生食	500ml		1 袋
	主管①	点滴	2時間
2）生食	500ml		1 袋
	主管②	点滴	2時間
3）アロカリス	235mg		1 V
パロノセトロン	0.75mg		1 V
デキサート	6.6mg		1 V
デキサート	3.3mg		1 A
生食	50ml		1 本
	主管③	点滴	30 分
4）シスプラチン(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)			40 mg/㎡ **【ケモセーフ使用】**
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製	
	主管④	点滴	2時間
5）マンニットールS	300ml		1 袋
	主管⑤	点滴	1時間
6）ラクテック	500ml		1 袋
	主管⑥	点滴	2時間
7）ラクテック	500ml		1 袋
	主管⑦	点滴	2時間
8）ヘパリンNaロック	10ml		1 筒
			ルートロック

〈所要時間　約12時間〉

次ページあり

day9、10、16、17

1）デキサート	6.6mg		1 V	
生食	50ml		1 本	
	主管①	点滴	15 分	
2）硫酸Mg補正液			1 A	
ラクテック	500ml		1 袋	
	主管②	点滴	2時間	
3）ラクテック	500ml		1 袋	
	主管③	点滴	2時間	
4）ヘパリンNaロック	10ml		1 筒	
				ルートロック

〈所要時間　約5時間〉

【3～5サイクル目】＊1サイクル3週間隔

day1

1）生食	50ml		1 本	
				ルート確保
2）キイトルーダ			200 mg/body	
生食	50ml		1 本	
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須
3）生食	50ml		1 本	
				フラッシュ用

〈所要時間　約1時間〉

【6～20サイクル目】＊1サイクル6週間隔

day1

1）生食	50ml		1 本	
				ルート確保
2）キイトルーダ			400 mg/body	
生食	50ml		1 本	
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須
3）生食	50ml		1 本	
				フラッシュ用

〈所要時間　約1時間〉

次ページあり

【文献】

国際共同第III相試験【KEYNOTE-A18試験 Lancet2024;404:1321-1322(PMID:39288779)】

*適応：局所進行子宮頸癌

(臨床試験)

*対象：未治療の局所進行子宮頸癌患者(FIGO2018進行期分類　Ⅲ～ⅣA)

*PD-L1発現の有無は問わない。

【キイトルーダ】

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり：場所　カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目～)

*インラインフィルター(0.2～5μm)を使用する。

*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

*希釈後、25℃以下で6時間以内または2～8℃で合計96時間以内に使用する。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。